

bookdown: RMarkdown で本を書く

- ・ Windows の場合、システムの日本語のロケールが CP932 で、UTF-8 になっていないので、やっかい。現状では手を出さない方が良い。

始め方

- ・ まず、パッケージ `bookdown` をインストールしておく

1. File > New Project > New Directory
2. 下の方に、Book project using `bookdown` がある
3. Directory 名とどこに作るかを Browse して > Create Project
4. サンプルが作成される（右下の Files 参照）

- ・ 番号のズレに注意
 - ・ ファイル名が、01-intro.Rmd となっているからといって、章番号が自動的に 1 になるわけではない。
 - ・ この数字は、最初に読み込む index.Rmd の次から読み込む順番に過ぎない。
 - ・ 実際、index.Rmd が第一章になり、01-intro は、第二章となっている。

_bookdown.yml 全体の構成の設定

_output.yml 出力の仕方の設定

index.Rmd 基本ファイル

- ・ 通常の RMarkdown で書く先頭部分の yaml のヘッダーはこのファイルだけに書く
- ・ このファイルを開いた状態で、メニューの Build から、Build All する
- ・ いったん build した後は、普通の RMarkdown のように Knit でコンパイル

執筆作業

.Rproj を開く

- ・ そのうえで、原稿内容の .Rmd を開いて執筆

Build > Build All でコンパイル

- ・ 毎回 PDF まで出力するのは、時間がかかる
- ・ 執筆中は HTML で確認する
- ・ 今書いている章だけを見る方法もある

```
preview_chapter()
```

Tips

文字修飾

`_文字列_` でイタリック
`*文字列*` でイタリック
`**文字列**` でボルド
``文字列`` でコード

- ・ Pandoc User 's Guide 日本語版参照
 - ・ <https://pandoc-doc-ja.readthedocs.io/ja/latest/users-guide.html>

ファイルと章の関係

- ・ 一つのファイルが一つの章
- ・ 一つの章には、第一段階のレベル # は一つだけ。それが章タイトルとなる。
- ・ ## は、章の下節のレベル

相互参照 Cross-references

- ・ ちょっとめんどくさい

図や表のキャプション

脚注

^[注の内容]

参考文献 @key を使う

References

<https://gedevan-aleksizde.github.io/rmarkdown-cookbook/bookdown.html>

<https://bookdown.org/yihui/bookdown/>

<https://cran.r-project.org/web/packages/bookdown/index.html>